

- ▶ 本県のスギ素材生産量は年間188万m³あり、平成3年から32年連続日本一であるが、伐採や造林などの事業量の拡大による労働力不足や、林業就業者の高齢化が進んでおり、森林整備等を推進していく上で担い手の確保が大きな課題となっている。
- ▶ このため、「みやざき林業大学校」において、本県林業・木材産業のニーズに対応した各種の研修を効果的に実施し、実践的な人材育成を総合的に行った。

□ 事業内容

1 「みやざき林業大学校」担い手育成総合研修事業

- 実践的な知識や技術、技能の習得に加え、意欲と能力のある林業経営者の養成及び青少年への森林・林業教育等を実施

【事業費】90,146千円（うち譲与税59,654千円）

【実績】

- ①みやざき林業大学校「長期課程」：21名
実践的な知識や技術・技能を身に付け、即戦力となる人材の育成
- ②みやざき林業大学校「短期課程」：238名
林業作業士養成研修等
- ③みやざき林業大学校「公開講座」：72名
中学生、高校生への森林・林業教室等



（長期課程：第4期生）



（公開講座：高校生への森林・林業教室）

□ 事業スキーム

- 1 短期課程「林業作業士養成研修」



- 2 1以外については、県直営等にて実施

□ 工夫・留意した点

- 長期課程では、林業の基礎から技術習得のための実習に加えICT等最新技術等を学ぶとともに、林業就業に必要な（全国の林業大学校で最多の）17の資格が取得可能。
- 民間企業や林業事業体、行政が一体となった就学・就業・定着を見据えた支援など、オールみやざきの支援体制を構築（令和5年3月末現在で90団体）。

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額：184,332千円	②私有林人工林面積（※1）：176,375ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より